

平成30年(2018年)度事業報告書

平成30年8月1日から令和元年7月31日まで



特別非営利活動法人
東京ノーヴィ・レパートリーシアター

1. 事業の総括

当年度、私たちは非常に重要な決定を選択しました。その内容は「さらなる飛躍をめざし、メンバー全員の再訓練の徹底と、これまでの活動の見直しをはかるため、1年間の公演活動の休止する」という内容でした。もちろんこの選択は簡単ではありませんでした。たとえば、経済面でも公演収入が激減するため大きな負担をおいします。けれどもいろいろな試行錯誤を続けてきた、この10数年にわたる活動を振り返り、新たな一歩のための準備を始めることは避けて通ることはできません。何回も話し合いを重ねた上での選択でした。そのため、すでに公演依頼を受けていた企画をのぞけば、大きな自主公演は行っていません。

※公演依頼を受けていた企画とは、2018年、ロシアで開催される二つの国際フェスティバルからの正式招聘公演、および翌2019年に山梨県北杜市教育委員会からの公演委託を受けていた公演があり「休止期間」と言っても実際には規模の大きな公演を幾つか行っています。

次年度の16シーズンには、梅若能楽学院会館での公演を主軸に据えたレパートリープログラムを組んでいます。私たちは新しいトレーニングプログラムを始めるとともに、次年度のオープニング作品として選んだ、サン＝テグジュペリ作「星の王子さま」能楽堂公演のリハーサルに取り組みました。

16シーズンは、月ごとに作品を変えながら、能舞台と下北沢のアトリエで計10本(予定)の作品が上演されます。私たちの1年間の選択がどのように反映されるか。どうぞ、ご期待ください。

さて当年度においても、演劇の普遍的なテーマである「人間の精神生活の追求と表現」ということについて、再度、触れたいと思います。——今、ますます重要性をもって問われるようになってきました。これは、演劇が現代社会から求められている課題です。演劇は“人間の精神生活”を表現することを通して、いつも時代を支えてきました。けれども、あたかも爆発するかのような勢いで加速、発展するテクノロジー社会は、人々の生活の中から急速な勢いで“人間の精神生活”を追いやっています。まさにチェーホフが「桜の園」の中に描いたように、時代はつねに「発展しながら、一方で失っていく」という構図を抱えてきました。「発展」は避けられない法則です。その中で「今、何を選択するか？」は、私たちにとって今もっとも重要な課題だと思われまます。

私たちが描く未来は、多くの方々の助けがなければ辿り着くことはできません。今後とも皆様のご賛同、ご協力をいただけることを心より願っております。

2. 事業の実施に関する事項 (特定非営利活動に関わる事業)

<演劇の公演事業(定款5条-1)>

【注】原則として、ここでは主に「自主企画公演を中心とした活動」を取り上げています。

「地域との連携活動による依頼公演」は「地域文化支援事業」、海外公演などの「国際文化交流活動に基づく公演」は「国際文化交流事業」というように、それぞれの活動の趣旨にもとづき、該当する事業活動の中で紹介しています。

■古典の素晴らしさを多くの人々に広めるための活動 (レパートリー公演活動)

どの芸術ジャンルにおいてもそうですが演劇にとっても「古典作品」は人類の財産といえます。私たちは厳選された古典作品をレパートリーとして取り上げ、心と感情で体験できる舞台芸術として昇華させ、多くの人々に鑑賞してもらう活動を行っています。

当年度は、翌 2019 年 10 月より始まる第 16 シーズンの公演プログラムの準備活動を行ったほか、下北沢演劇祭では、スタニスラフスキースタジオによる「バリヤガンガーラ」上演と、元メンバーで現在、瞽女唄奏者として活動している[]さんに協力してもらい、「瞽女さんの足音」公演を行いました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	<古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動> サン＝テグジュペリ作『星の王子さま』公演の準備とリハーサル 【下北沢演劇祭参加作品】 「バリヤガンガーラ～笑いのない町」公演 【下北沢演劇祭参加作品】 「瞽女さんの足音」公演	(通年)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	40人	一般 不特定多数	3,856 (千円)
		平成 30 年 2月 14～17 日 (4 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	12人	一般 100人	
		平成 30 年 3月 2～3 日 (2 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	4人	一般 45人	

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款 5 条-2）>

【注】原則として、ここでは「地元本拠地で、年間継続して行っている人材育成支援活動」を主に扱い、「地域からの要請で開催されるワークショップ活動など」は「地域文化支援事業」の欄で扱っています。

1) アカデミーの運営による芸術家育成活動（定款 5 条 2 項 (ア) 演劇芸術に関わる教育機関の運営）

私たちは、スタニスラフスキーシステムの研究および人材育成機関として、「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校しています。「演技コース」に加え「映像コース」を併設しています（主任講師兼アカデミー校長：ロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフ／映像コースの担当講師は『かみさまとのおやくそく』の映画監督、[]）。当年度は、第 6 期生を対象に開校しました。

2) 演劇クラスを通しての社会人支援活動（定款 5 条 2 項 (イ) セミナー、ワークショップの開催）

「スタニスラフスキー・スタジオ」と名称を変え、一般の方たちが、より高度で本格的な演劇活動に参加できる場所として運営されています。（スタジオ指導者：[]）

当年度は、スタジオのレパートリーである「バリヤガンガーラ～笑いのない町」を、下北沢演劇祭で上演しました。（詳細は、「公演事業」を参照ください）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関わる人材育成支援事業	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」 日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校、運営（当期は、第 6 期生対象）。	通年	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	8人	一般 22人	8,907 (千円)
	【セミナー、ワークショップの開催】 <「スタニスラフスキー・スタジオ」の運営 > アイルランドの劇作家 [] 『バリヤガンガーラ～笑いのない町～』上演。並行して、[] 原作の長編小説『宣告』の舞台化を進める。	通年	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	7人	一般 5人	

<演劇芸術に関する情報発信事業（定款 5 条-3）>

国際シンポジウム（定款 5 条 3 項（イ）演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表）

上智大学グリーンケア研究所・科研が継続して開催している「身心変容技法研究会」において、当団体の芸術監督■■■■■■■■■■が講演者として参加。最終日には「演劇における身心変容技法」というテーマでの講演を行いました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関する情報発信事業	【演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表】 国際シンポジウム「身心変容のワザと哲学」 11月30日 討論研究会 12月1日 一般公開国際シンポジウム 12月2日 研究会「演劇における身心変容技法」	平成 30 年 11月30日～ 12月2日	上智大学 L号館／四谷キャンパス (東京都千代田区)	2人	一般 不特定多数	0 (千円)

<演劇芸術を通しての国際文化交流事業（定款 5 条-4）>

当年度は、平成 30 年 11 月に、劇団員がほぼ総勢で参加する大規模なロシア公演を行いました。

ドストエフスキー『白痴』がノヴゴロド市「第 22 回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭」に、日本神話『古事記』がモスクワ音楽院より「第 20 回“日本の心”国際音楽祭」へ正式に招聘されました。特に 2018 年は「ロシアにおける日本年」にあたるため、今回のロシア公演は、日本外務省主催の「ロシアにおける日本年」事業として認定を受けました。

今回のロシア公演のためにクラウドファンディングで資金協力を仰いだ結果、有難いことに多くの方々からご助力をいただくことができました。続いて渡航直前の 10 月末には梅若能楽堂をお借りして、平和への祈りを願った「古事記～祈りをつなぐ旅～」の奉納公演を実施。多くの人に励まされ、全行程約 2 週間におよぶロシア公演を敢行しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての国際文化交流事業	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 「古事記～祈りをつなぐ旅～」奉納公演～能楽堂から世界へ～	平成 30 年 10月28日 (1公演)	梅若能楽学院会館 (東京中野区)	40人	国内 一般市民 300人	8,313 (千円)
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第 22 回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭) ドストエフスキー『白痴』招聘公演	平成 30 年 11月11日 (1公演)	ドストエフスキー記念アカデミー ドヌ劇場 (ロシア国ノヴゴロド市)	40人	ロシア 一般市民 800人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第 22 回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭) 『古事記』招聘公演	平成 30 年 11月12日 (1公演)	ワグネル・フィルハーモニー劇場 (ロシア国ノヴゴロド市)	40人	ロシア 一般市民 628人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第 20 回“日本の心”国際音楽祭参加) 『古事記』招聘公演	平成 30 年 11月14日 (1公演)	メイホリドセンター (ロシア国モスクワ市) (予定)	40人	ロシア 一般市民 350人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第 20 回“日本の心”国際音楽祭参加) 『鉄輪恋鬼輪舞』招聘公演	平成 30 年 11月19日 (1公演)	モスクワ音楽院ホール (ロシア国モスクワ市) (予定)	40人	ロシア 一般市民 252人	

<演劇芸術を通しての地域文化支援事業（定款 5 条-5）>

1) 山梨県北杜市「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」事業

山梨県北杜市では、長野県富士見町・原村と結んだ『八ヶ岳定住自立圏』形成に関する協定により、様々な分野での取組みを進めています。北杜市教育委員会からの要請を受け「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の事業に協力する形で公演を実施しています。

当年度は、昨年5月に梅若能楽学院会館で上演、「東洋と西洋の融合」として高い好評をいただいたチェーホフ作『桜の園』を上演しました。

2) 安養院奉納「古事記」公演

真言宗豊山派寺院の安養院は、鎌倉中期正嘉元年（1257）に、最明寺北条時頼が諸国行脚のみぎり、持仏「摩利支天」を此地に安置し一宇を建立して創建されたと伝えられる由緒のある寺院です（WIKIより引用）。

当年度、安養院の本堂において、「古事記」作品を奉納公演させていただきました。多くの方々から「神道的な内容の舞台が、仏さまが安置されている本堂で上演され、それが何の違和感もなかっただけでなく、たいへん深く感銘を受けた」と高い評価をいただきました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての地域文化支援事業	<八ヶ岳定住自立圏 演劇鑑賞・体験交流促進事業> 北杜市教育委員会からの招聘を受けて、公演の実施および、演劇ワークショップを開催した。 チェーホフ作「桜の園」公演 演劇ワークショップ	令和元年 6月29日 (1公演) 6月30日 (1回)	八ヶ岳やまびこホール (山梨県北杜市)	40人 (公演) 5人 (WS)	一般市民 (公演) 415人 (WS) 50人	2,033 (千円)
	<安養院奉納公演> 「古事記」奉納公演	令和元年 5月25日 (1公演)	安養院 (東京都板橋区)	40人	一般市民 300人	

<演劇芸術に関わるネットワーク構築事業（定款 5 条-6）>

当年度、実施せず。

<その他、目的を達成するために必要な事業（定款 5 条-7）>

当年度、実施せず。

法人名 特定非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

活動計算書

平成30年 8月 1日 ~ 令和元年 7月 31日 まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	0	120,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	3,288,000	3,288,000
3. 受取助成金等		
受取公共団体助成金	970,000	970,000
4. 事業収益		
自主事業収益	16,572,964	16,572,964
5. その他収益		
受取利息	84	
雑収益	1,184,624	1,184,708
経常収益計		22,135,672
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
舞台仕込み費	954,329	
支払報酬	6,307,065	
福利厚生費	41,869	
印刷費	294,111	
通信費	351,040	
地代家賃	5,258,283	
水道光熱費	680,559	
賃借料	581,398	
旅費交通費	6,526,763	
広告宣伝費	178,423	
交際費	397,933	
会議費	254,880	
消耗品費	760,373	
諸会費	15,000	
支払手数料	353,158	
保険料	49,800	
租税公課	0	
書籍代	17,188	
長期前払費用償却	86,400	
雑費	7,000	
支払利息	0	
雑損失	0	
その他経費計	23,115,372	
事業費計		23,115,372
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	1,080,000	
法定福利費	149,966	
人件費計	1,229,966	
(2) その他経費		
舞台仕込み費	0	
支払報酬	259,200	
福利厚生費	41,000	

科 目	金 額		
印刷費	1,830		
通信費	1,460		
地代家賃	0		
水道光熱費	0		
賃借料	0		
旅費交通費	60,683		
広告宣伝費	0		
交際費	30,364		
会議費	618		
消耗品費	97,288		
諸会費	51,580		
支払手数料	134,529		
保険料	0		
租税公課	2,400		
書籍代	0		
長期前払費用償却	0		
雑費	0		
支払利息	0		
雑損失	0		
その他経費計	680,952		
管理費計		1,910,918	
経常費用計			25,026,290
当期経常増減額			△ 2,890,618
Ⅲ 経常外増減の部			
貸倒引当金戻入額	61,875		
経常外費用	0	61,875	
当期経常外増減額			61,875
税引前当期正味財産増減額			△ 2,828,743
法人税等			70,000
当期正味財産増減額			△ 2,898,743
前期繰越正味財産額			9,513,807
次期繰越正味財産額			6,615,064

法人名：特定非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリリーシアター

貸借対照表

令和元年 7月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	230,000		
小口現金	57,393		
三井住友銀行 1	366,109		
三井住友銀行 2	320,792		
三井住友銀行 3	15,261		
三井住友銀行 4	2,827,231		
三井住友銀行 5	151,370		
三菱東京UFJ銀行	130		
楽天銀行	265,231		
ゆうちょ銀行	345,336		
積立預金	810,192		
未収入金	1,483,023		
棚卸資産	69,120		
立替金	30,751		
仮払金	165,700		
前払費用	145,324		
預け金	9,124		
流動資産合計		7,292,087	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
出資金	20,500		
差入保証金	173,990		
長期滞留債権	8,095,381		
長期前払費用	36,000		
投資その他の資産計	8,325,871		
固定資産合計		8,325,871	
資産合計			15,617,958
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,778,425		
未払費用	1,630,270		
前受金	29,200		
預り金	485,879		
短期借入金	2,000,000		
仮受金	9,120		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		9,002,894	
負債合計			9,002,894
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,513,807	
当期正味財産増減額		△ 2,898,743	
正味財産合計			6,615,064
負債及び正味財産合計			15,617,958

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 資産の評価基準および評価方法

・たな卸し資産の評価基準および評価方法

最終仕入法による原価法を採用しています。

(2) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理は、税込経理を採用しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	公演事業	人材育成 支援事業	国際文化 交流事業	地域文化 支援事業	事業部門 (計)	管理部門	合計
I 経常収益							
受取会費	0	0	0	0	0	120,000	120,000
受取寄付金	0	0	2,000,000	0	2,000,000	1,288,000	3,288,000
受取助成金等	0	0	970,000	0	970,000	0	970,000
事業収益	6,331,060	10,235,904	0	6,000	16,572,964	0	16,572,964
その他収益	112,367	4,024	1,088,240	0	1,184,631	77	1,184,708
<経常収益 計>	6,443,427	10,239,928	4,038,240	6,000	20,727,595	1,408,077	22,135,672
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	0	0	0	0	0	1,080,000	1,080,000
法定福利費	0	0	0	0	0	149,966	149,966
人件費計	0	0	0	0	0	1,229,966	1,229,966
(2) その他経費							
舞台仕込み費	79,325	40,565	449,428	385,011	954,329	0	954,329
支払報酬	1,300,842	3,962,827	843,396	200,000	6,307,065	259,200	6,566,265
福利厚生費	37,000	1,420	3,249	0	41,669	41,000	82,669
印刷費	246,882	44,375	2,854	0	294,111	1,830	295,941
通信費	175,953	89,745	83,865	1,477	351,040	1,460	352,500
地代家賃	881,544	2,531,289	922,725	922,725	5,258,283	0	5,258,283
水道光熱費	160,501	269,598	125,230	125,230	680,559	0	680,559
賃借料	190,979	170,679	168,761	50,979	581,398	0	581,398
旅費交通費	68,249	803,635	5,334,059	320,820	6,526,763	60,683	6,587,446
広告宣伝費	146,666	29,057	2,700	0	178,423	0	178,423
交際費	88,429	190,233	114,681	4,590	397,933	30,364	428,297
会議費	28,731	164,594	41,286	20,269	254,880	618	255,498
消耗品費	300,167	374,481	85,725	0	760,373	97,288	857,661
諸会費	12,000	3,000	0	0	15,000	51,580	66,580
支払手数料	12,245	204,141	133,181	3,591	353,158	134,529	487,687
保険料	28,800	21,000	0	0	49,800	0	49,800
租税公課	0	0	0	0	0	2,400	2,400
書籍代	6,912	8,224	2,052	0	17,188	0	17,188
長期前払費用償却	86,400	0	0	0	86,400	0	86,400
雑費	5,000	0	2,000	0	7,000	0	7,000
支払利息	0	0	0	0	0	0	0
雑損失	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	3,856,625	8,908,863	8,315,192	2,034,692	23,115,372	680,952	23,796,324
経常費用計	3,856,625	8,908,863	8,315,192	2,034,692	23,115,372	1,910,918	25,026,290
III 経常外増減の部							
貸倒引当金戻入額	61,875	0	0	0	61,875	0	61,875
税引前当期正味財産増減額	▲ 3,794,750	▲ 8,908,863	▲ 8,315,192	▲ 2,034,692	▲ 2,325,902	▲ 502,841	▲ 2,828,743
法人税等	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
当期経常増減額	▲ 3,664,750	▲ 8,908,863	▲ 8,315,192	▲ 2,034,692	▲ 2,395,902	▲ 502,841	▲ 2,898,743

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産						
出資金	20,500	0	0	20,500	0	20,500
差入保証金(劇場)	173,990	0	0	173,990	0	173,990
長期滞留債権	8,427,181		331,800	8,095,381	0	8,095,381
長期前払費用	36,000	0	0	36,000	0	36,000
合 計	8,657,671	0	331,800	8,325,871	0	8,325,871

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	2,000,000	0	2,000,000

法人名： 特定非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

財産目録

令和元年 7月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	運転資金として	230,000
小口現金	運転資金として	57,393
三井住友銀行 下北沢支店 1	運転資金として	366,109
三井住友銀行 下北沢支店 2	運転資金として	320,792
三井住友銀行 下北沢支店 3	運転資金として	15,261
三井住友銀行 下北沢支店 4	運転資金として	2,827,231
三井住友銀行 下北沢支店 5	運転資金として	151,370
三菱UFJ銀行 下北沢支店	運転資金として	130
楽天銀行 第1営業支店	運転資金として	265,231
ゆうちょ銀行 O一八支店	運転資金として	345,336
定期積金		
三井住友銀行 下北沢支店 1	運転資金として	810,192
未収入金	団費、公演事業等	1,483,023
棚卸資産	未知谷出版資料在庫	69,120
立替金	講師経費	30,751
仮払金	経費	165,700
前払費用	家賃	145,324
預け金	公演残金	9,124
流動資産合計		7,292,087
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		0
(2) 無形固定資産		0
(3) 投資その他の資産		
出資金 (NPOバンク組合)	組合出資金	20,500
差入保証金 (劇場)	マツヤ不動産	173,990
長期前払費用	更新料	36,000
長期滞留債権	団員	8,095,381
固定資産合計		8,325,871
資産合計		15,617,958
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	団員	4,778,425
未払費用	給料	1,630,270
前受金	団費	29,200
預り金	源泉所得税	485,879
短期借入金	運転資金として	2,000,000
仮受金		9,120
未払法人税等	法人住民税	70,000
流動負債合計		9,002,894
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		9,002,894
正味財産		6,615,064

平成30年度 年間役員名簿

平成30年8月1日から 令和元年7月31日まで

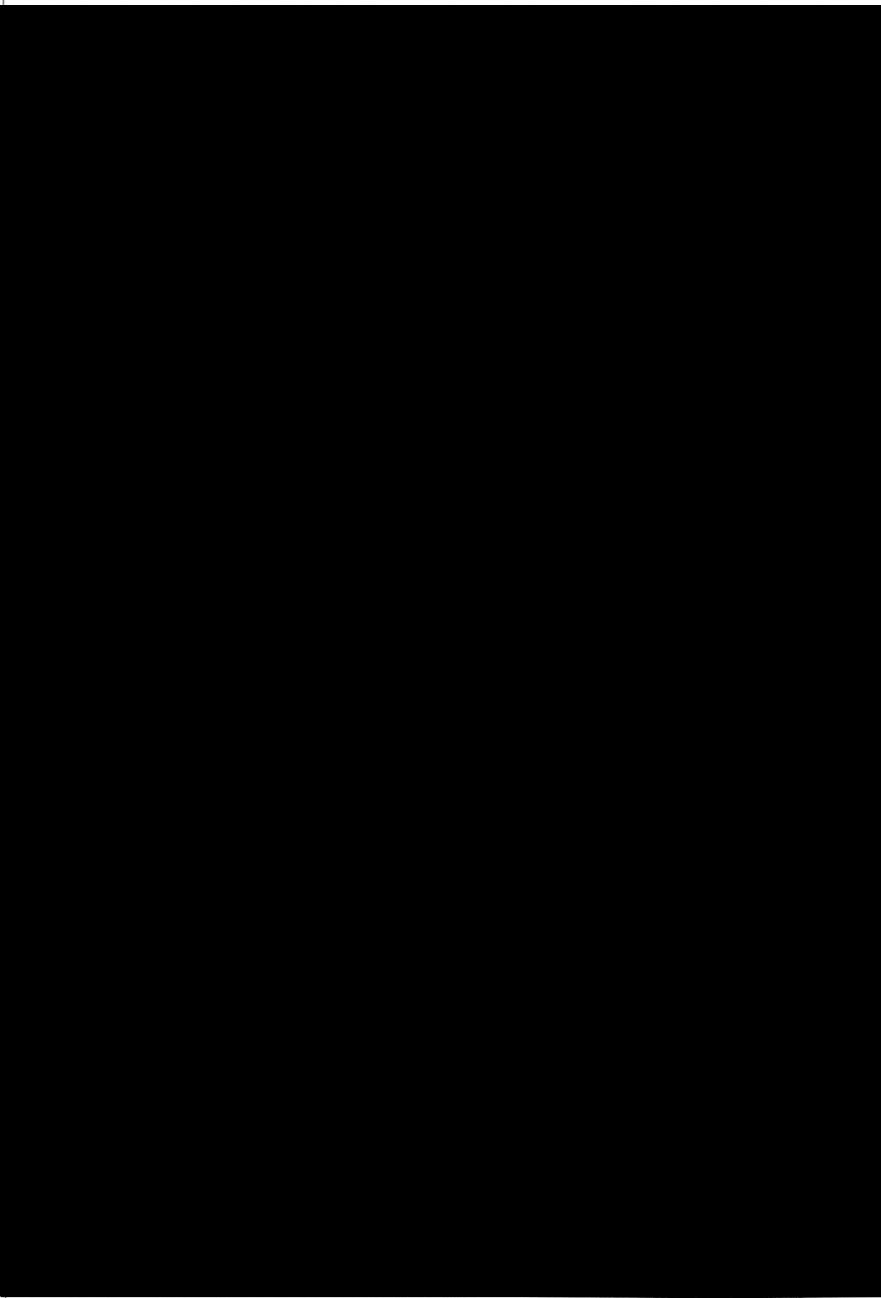
特定非営利活動法人 東京ノーヴイ・レパトリーシアター

役名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就任期間	報酬を受けた 期 間
理事	岡崎 弘司		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	大坂 陽子		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	中村 恵子		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	川北 裕子		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	森田 明子 (通称；天祭揚子)		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	八巻 圭一朗		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	山田 高康		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	遠坂 創三		平成29年8月1日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	鶴野 和夫		平成29年10月5日 ～ 平成30年7月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員のうち10人以上の者の名簿

令和元年 7月 31日現在

特定非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	安部 健	
2	岡崎 朋代	
3	小倉 崇昭	
4	菅沢 晃	
5	後藤 博文	
6	蒲原 崇 (芸名；天満谷 龍生)	
7	中澤 佳子	
8	浜中 昭子	
9	八巻 圭一朗	
10	山田 高康	
11		
12		